

総合防災情報システムの GOOD DESIGN AWARD 2025 の受賞について

1 要旨

令和7年4月から、鳥取県と共同運用している総合防災情報システムについて、GOOD DESIGN AWARD 2025 を受賞した。

2 概要

(1) GOOD DESIGN AWARD（グッドデザイン賞）とは

グッドデザイン賞とは、製品、建築、ソフトウェア、システム、サービスなど、かたちのある無しにかかわらず、人が何らかの理想や目的を果たすために築いたものごとをデザインにとらえ、その質を評価・顕彰するもの（HP から抜粋）。

（参考 URL）<https://www.g-mark.org/learn/gda/overview>

(2) 受賞内容について

公 表 日 時	令和7年10月15日（水）13：30
受 賞 デ ザ イ ン	防災情報システム/広島県・鳥取県共同運用型防災情報システム
受 賞 代 表 者	日本アイ・ビー・エム株式会社 代表取締役社長執行役員 山口 明夫 広島県 広島県知事 湯崎 英彦 鳥取県 鳥取県知事 平井 伸治
プロデューサー	日本アイ・ビー・エム株式会社 官公庁事業部 広島県 危機管理監危機管理課 鳥取県 危機管理部危機対策・情報課
ディレクター	日本アイ・ビー・エム株式会社 荒川 一誠
デザイナー	日本アイ・ビー・エム株式会社 染谷 尚希 広島県 総務局県庁情報システム担当 大川 泰明
デザインのポイント	1 複数県が共同運用できる防災情報システムを構築し、災害支援における自治体間の協力・連携を円滑にすること 2 防災情報に最適なデザインと柔軟なパーソナライズ性により、防災職員の情報収集と意思決定を迅速化すること 3 防災に詳しくないユーザを意識した公開サイトの導線を設計し、住民の避難行動につながる情報発信を行うこと

(3) 評価委員からの評価コメント（コメント原文）

複数県が共同で運用できる防災情報システムを構築し、災害支援における自治体間の協力と連携を円滑にした点が評価された。日本は自然災害が多発する国であり、防災対策は喫緊の課題だが、各県のシステムは県を跨いだ共有が難しいという課題があった。本取組は日本初の共同運用型システムであり、防災 DX の新たな形として今後の標準となる可能性を秘めている。防災情報に最適化したデザインと柔軟なパーソナライズにより、誰でも使いやすく、住民の避難行動を促すようデザインされている。

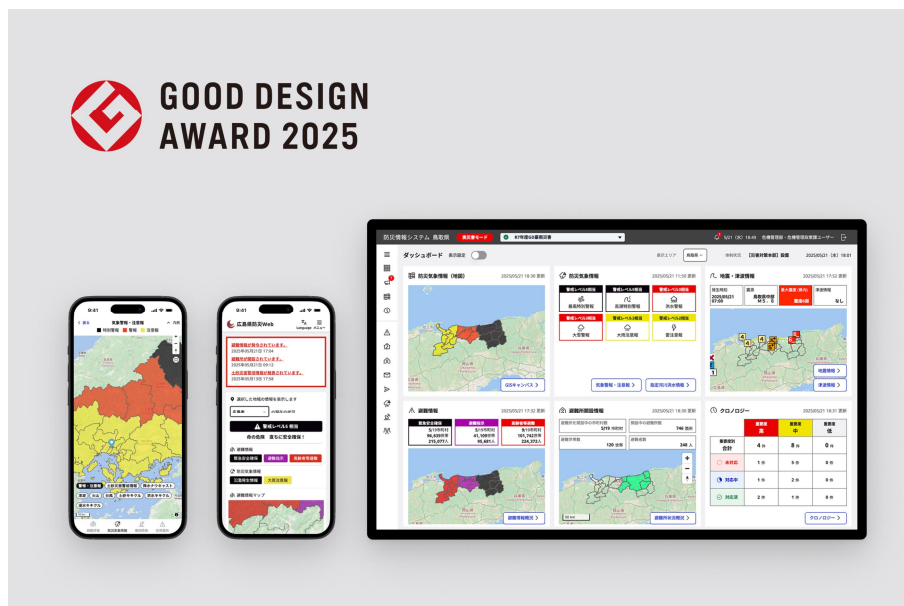
3 広島県知事コメント

【湯崎 英彦 広島県知事】

この度総合防災情報システムがグッドデザイン賞を受賞したことについて、平井知事はじめ、鳥取県等開発に関わった関係者の方々に感謝申し上げる。このシステムは、自治体間や防災関係機関との情報連携による災害対応力の強化と住民の避難行動を促すための分かりやすい情報発信を目指し、中国5県で議論・検討し、構築を進めてきたものである。

こうした取組が評価されたことは大変喜ばしいことであり、防災 DX の新たな形として全国に展開されていくことを期待している。

今後も本システムを活用し、自治体、防災関係機関との円滑な情報共有による迅速な災害対応に努めるとともに、県民の皆様の避難行動につながる情報を積極的に発信していきたい。



総合防災情報システム（イメージ図）